

「成田空港の更なる機能強化」へ寄せられたご意見要旨

成田空港周辺市町にて開催した「成田空港の更なる機能強化に関する住民説明会」（平成28年10月～平成29年6月）、
「成田空港の更なる機能強化に関する対話型説明会」（平成28年12月～平成29年3月）、
及びホームページ等へ寄せられた主なご意見は、以下のとおりとなります。

お問い合わせ

NAA

成田国際空港株式会社

NARITA AIRPORT

0570-000-955

受付時間：
平日9:00～17:00
【12/29～1/3を除く】

下記ホームページでは成田空港の更なる機能強化の詳細についてご覧いただけます。

www.narita-kinoukyouka.jp



1. 住民説明会で寄せられたご意見

（1）機能強化全般について

①機能強化案について

- ・機能強化の対案の具体性が乏しい上、そもそもこれまでの対策に不足がある。
- ・もろ手を挙げて賛成という立場にはないが、地域の将来を考えると、成田空港と共栄し、ある程度の機能強化には賛成すべきと考えている。
- ・現状のままを望む。これ以上の機能拡充は反対。
- ・今までの問題を解決した上で機能強化の話をするべき。
- ・機能強化を拒む訳ではなく空港は発展してほしいが、健康で文化的な生活が前提。
- ・住民が騒音に耐えてまで空港間競争が必要なのか。
- ・機能強化の必要性は理解した。環境対策や振興策が、おろそかにならないよう頑張ってもらいたい。

②機能強化によるメリット

- ・これまで何の利益もなかった。機能強化でメリットがあるのか。
- ・機能強化によって地元の良いことがあるのか。見えない。
- ・機能強化に反対とは言わないが、「困っている人に手当てすること」「雇用を作ること」「騒音測定を今より頻繁に行うこと」「経済的なメリットをもたらすこと」「何度も説明を尽くすこと」を要望する。
- ・新たな滑走路ができるのはある程度しょうがないが、最大限のメリット、補償を受けたい。
- ・機能強化が実現すれば騒音地域は拡大や落下物、自治体間の経済・財政における更なる格差の拡大が危惧され、町の存亡にかかわる問題である。
- ・LCCと貨物が増え、乗り継ぎ客ばかりが増加した場合に地域は潤うのか。
- ・空港に対しては雇用や町の発展の部分で恩恵を受けている面もあり、ある程度の騒音は我慢してきた一方で限界もある。
- ・今回の機能強化は国策であり、住んでいる人にどんな利益があるかを示していただければ、皆喜んで賛成するのではないかと。個人への利益が重要。

③他空港活用

- ・機能強化は新しい空港を作って対応すべき。
- ・首都圏の需要は羽田の滑走路を整備することで対応できるのではないかと。
- ・利便性を考慮すれば羽田を拡張すべきでは。
- ・茨城空港を活用すればよい。また、昼間の増便で十分。夜間は不要。
- ・夜間の飛行は羽田に回してほしい。

④空港までのアクセス

- ・成田はアクセスが悪い。羽田に負けて貨物だけになってしまう。
- ・夜間が緩和された際にはアクセス全般の見直しもしてほしい。
- ・深夜1時についたときのアクセスはどうするのか。
- ・鉄道、バス等の深夜早期アクセスの向上を求む。

（2）夜間飛行制限の緩和について

①夜間飛行制限緩和の案について

- ・夜間緩和は開港当初の約束が守られるべき。絶対に認められない。
- ・夜間緩和については、騒音地域の住民の意見を聞いたうえで慎重に検討し、住民への丁寧な説明、話し合いを行って解決策を導くこと。
- ・滑走路は分かるが、夜間緩和に関しては賛成をしかねる。
- ・夜間緩和については反対であり、対策が完了してから実施するべき。
- ・住民の意見を聞いたうえで、提案より時間を縮小することも検討が必要。
- ・弾力的運用をしたばかりでますます夜間飛行制限の緩和など誰も賛成しない。
- ・現在の案の5時台0時台の便数はわずかで、これをカットしても、影響はそんなにないのではないかと。
- ・防音工事助成があるようだが、夜間飛行制限の緩和には反対。
- ・医学的に健康維持に必要な睡眠時間はどれくらいか。今回の提案は健康を度外視している。
- ・24時間運用になっても構わないが、安眠できることが前提。

②深夜・早期対策

- ・開港当初の夜間の約束は守られるべきだし、内窓を設置する部屋が寝室に限られるのもおかしい。
- ・夜間は低騒音機に限ることはできないのか。
- ・24時間空港を目指してほしい。それに当たっては交付金や対策など、大胆な計画をしてほしい。
- ・夜間飛行制限を緩和したいなら全戸移転させるべき。
- ・時間延長は基本的に大反対だが、目に見えて満足することがあれば、住民も仕方がないとなるのかもしれない。
- ・内窓の効果をメーカーと検証して説明してほしい。
- ・内窓の遮音性については疑問。
- ・国際線が中心の成田では昼間だけの運用というわけにいかないのは分かるが、騒音に耐えられない場合の対策を提案してほしい。
- ・内窓等の防音対策の詳細や設置条件はいつ示してくれるのか。

- ・健康影響調査はやらないのか。
- ・住民への健康調査を空港会社側でも補助をするなどの対応を考えてほしい。

（3）予測騒音コンター（騒音影響範囲）及び対策区域について

①予測騒音コンター

- ・コンターの正確性を国ではない第三者に検証してもらいたい。
- ・コンターを作成する気象条件は実生活とかけ離れていておかしい。
- ・小型化しても便数が増えるのにコンターが縮小するのはおかしい。
- ・夜間を先行実施するならば、今回のコンターはおかしいのではないかと。

②騒音影響

- ・夜間だけでなく昼間の騒音も考えてほしい。子どもと会話ができない。
- ・健康で文化的な最低限度の生活における睡眠時間と、室内騒音レベルはどう考えているのか。
- ・騒音による健康問題について教えてほしい。
- ・低周波に起因する振動・騒音がひどい。
- ・騒音測定結果を回覧してほしい。

③対策(区域)

- ・コンターの線がかからない地域への対策は。皆が住み続けられるような対策をお願いしたい。
- ・コンターから少し外れただけで対策の違いが甚だしい。
- ・コンターからは外れているが、現に騒音はするので何等か対策を考えてほしい。
- ・対策範囲は地区内で分断しないでほしい。
- ・コンターが現在の対策区域の内側にとどまっているが、対策区域は今のままということではいか。
- ・対策区域はいつ決まるのか、区域が確定してから対策が実施されるまでに、どれくらいかかるのか。

（4）環境対策について

①防音工事等

- ・広い農家型住宅に1人で住んでいる場合もある。居住人数で防音工事の限度額が決まるのはおかしい。
- ・ペアガラスや内窓は当たり前であり、もっと踏み込んだ対策がほしい。
- ・拡充工事の限度額があるが、1種区域については、NAAが今後工事を行うにあたって天井もやらしてもらえないかと機能強化自体に賛成できない。
- ・居住人数等で限度額を定めるのではなく、住民の声を反映した対策をしてほしい。
- ・洗面所等において、バリアフリーに対応した防音工事は可能か。
- ・ペアガラスは重い。また、古い家屋に防音工事したら、耐震性能に影響があるのではないかと。
- ・防音工事実施済みの住宅についての対策を考えてほしい。
- ・防音工事済み住宅についてのアフターケア、騒音測定をお願いしたい。
- ・防音工事の対象からなぜ浴室、洗面所、便所、納戸は除かれるのか。
- ・第三滑走路の整備も夜間の緩和も構わないが実効性ある防音工事をしてほしい。
- ・騒音対策については抜本的な対策をしてほしい。できないのであれば法律を変えてほしい。低周波対策はやるのか。
- ・町全体の騒音を測定し、対策も町全体でやってほしい。
- ・人口が減らないよう告示後に入ってきた人にも防音工事をすべき。

②移転補償

- ・移転対象世帯への補償、移転先の斡旋・地域コミュニティの扱い如何。
- ・移転が可能になるかどうか、早く示してほしい。
- ・鑑定評価額はいつ決まるのか、公表はするのか。
- ・用地取得のスケジュールを示してほしい。
- ・Lden62dBまで全戸移転を希望する。

③周辺対策交付金

- ・騒音範囲が広がるのだから、交付金を増やしてほしい。
- ・周辺対策交付金が住民に全く還元されていない。
- ・交付金は第三滑走路によって今までの日常生活に影響が出る範囲に重点的に配分してもらいたい。
- ・交付金を地区に直接交付してほしい。

④集落分断

- ・移転による集落分断は避けてほしい。
- ・移転の際は、圏央道で分断されないようにしてほしい。
- ・移転せずに残る人に対して優遇すること。
- ・集団移転をずっと希望しているところを解消するのが先ではないかと。
- ・現状集落分断してしまった地区への配慮を求む。

⑤落下物対策

- ・落下物対策と補償の充実をお願いしたい。

⑥その他

- ・大気汚染について数値化したものとそれに対する対策について知りたい。
- ・排気ガスがビニルハウスに付着するがどのような対策を考えているのか。

（5）地域振興策等について

①空港周辺の発展

- ・県にも企業誘致等を真剣に考えてもらいたい。
- ・今後ますます過疎化し地価も下がる。固定資産税を無税化してほしい。
- ・騒音地域に配慮し、空港があつてよかったと思える空港圏全体の均衡ある発展が必要。
- ・騒音が拡大し、人口が減少することが心配。
- ・空港の周辺地域では地域振興に差がある。
- ・空港が繁盛すれば周囲のホテルへの観光客も増加し、地域振興になる。
- ・地域振興等の空港があることの恩恵を具体的に示してほしい。

②空港周辺の道路整備、アクセス等

- ・空港周辺のアクセスの充実、空港周辺地域の格差是正を求む。
- ・NAAには交通網整備等まちづくりを積極的にしてほしい。
- ・芝山鉄道の計画はどうなっているのか。
- ・空港の発展とともに交通量や事故が増加しており、実態調査をやってほしい。そのうえで道路整備等を進めてほしい。
- ・栗山川の改修及び川の脇に津波避難用の広い道路を作ってほしい。
- ・企業誘致も含めて周辺の道路インフラの整備をしっかりとやっていただきたい。

③その他

- ・成田用水の在り方はどうなるのか。
- ・成田用水の受益地減少による負担増についてどう考えるのか。
- ・機能強化をやるのであれば、農業のための土地改良もやってほしい。
- ・敷地予定地の排水対策をしっかりと行ってほしい。
- ・高谷川への排水対策をしっかりとやってほしい。
- ・空港の東側に災害救難拠点基地を作してほしい。
- ・共同アンテナの修繕について補助してほしい。

2. 対話型説明会で寄せられたご意見

(1) 機能強化全般について

①機能強化案について

- ・空港の発展がなければ地域の発展はない。地域整備と共に早く完全実施をしてほしい。
- ・日本の将来のために必要なかどうか。
- ・全面的に賛成。
- ・カーフェーの緩和も重要、B、C滑走路の整備は仕方ない。
- ・今後の日本航空行政にとって必要。
- ・現状も悩まされているのにC滑走路。不安要素が多い。
- ・国内外の空港間競争上機能強化は必要。
- ・10年20年先を見越した整備計画に感服。
- ・第3滑走路の建設より、現B滑走路南伸等の便数増加対策が有効と思われる。
- ・C滑走路の騒音の影響は心配。

- ・A滑走路の被害軽減になるものでなければ受け入れられない。
- ・なし崩しに24時間化を進めることなく住民理解を十分に得ることが必要。
- ・住民の理解を一層進めて。住民意見を取り入れ地域密着型空港にしてほしい。
- ・儲けばかりに走らないように慎重に。住民も働く人もハッピーな空港にしてほしい。
- ・オリパラに向けて日本の表玄関として恥じない良い空港にしてほしい。
- ・オリンピックを踏まえ機能拡大は大事。

②機能強化によるメリット

- ・成田空港は地域経済を支え、将来発展には欠かせない。
- ・将来の子供たちのために必要。
- ・雇用機会の拡大から人口減少食い止めできるかもしれない。

- ・グローバル化に伴う利用量増加には理解。
- ・過疎化が進み生活しにくい町になるだけだ。
- ・地域の雇用が生まれる。
- ・経済活性に期待。

③空港までのアクセス

- ・鉄道、高速道路の渋滞緩和策も進めるべき。
- ・鉄道の利便性を(朝夜強化、複線化)。
- ・特に南側からの空港へのアクセス整備をしてほしい。

④その他

- ・いつどうなるという計画が見えてこない。スケジュールを早く知りたい。

(2) 夜間飛行制限の緩和について

①夜間飛行制限緩和の案について

- ・制限緩和の必要性を説明してもらいたい。制限撤廃ではなく最小にすべき。
- ・運用時間の延長を望む。空港の発展無くして地域の発展は考えられない。
- ・夜間延長は絶対に反対。日中の対策を考えてほしい。
- ・制限緩和は必要だが夜間の騒音は耐え難く、便数制限を行ってほしい。

- ・周辺地域と慎重に緩和を推進する必要あり。
- ・最低限眠れる時間を確保するのが住民の必然な要求。
- ・緩和時間帯の機種ごとの割合を公表すべき。
- ・24時間体制はいつか。オリンピックに間に合うのか。

②深夜・早朝対策

- ・コース変更を望む。時間延長に対して子供の成長に影響が出ないよう工夫を。
- ・内窓効果を実感。
- ・寝室だけのサッシでは効果が疑問。農家は構造上家全体の防音対策が必要では。

(3) 予測騒音コンター(騒音影響範囲)及び対策区域について

①予測騒音コンター

- ・自宅の騒音がどうなるのか情報不足。
- ・現在示したコンターでは飛行回数3倍となっていない。見直しを要求する。
- ・山からの反響音は考慮されていないのでは。
- ・雨天時はもっと騒音があるのでは。実際の飛行と違うのでは。
- ・航空機の低騒音化に伴いコンターの見直しをしてほしい。

②騒音影響

- ・対策地域外だが強化後高度が低くなるので気になる。
- ・学校等への影響が気になる。
- ・曇りのとき耐えられない。
- ・防音工事済だが、TV、電話、会話に支障がある。
- ・外気と遮断された部屋の閉塞度は耐えられない。
- ・対策地域でないが早朝深夜は騒音が気になる。

③対策(区域)

- ・騒音地区対象地域を拡大してほしい。
- ・影響範囲に関する対策を明確にされたい。
- ・線引き見直し希望。個々の移転、騒音対策には十分に配慮をしてほしい。

(4) 環境対策について

①防音工事等

- ・低騒音型飛行機を導入してほしい。被害を訴える家の補償をしてほしい。
- ・外出時は我慢するしかないのかと疑問。騒音下の住民の納得がいく対策をしてほしい。
- ・防音サッシの対応は良いが、窓を開けているときは気になる。
- ・騒音地区がかかる地区内は一律に防音工事を希望。
- ・谷間地区住民への騒音補償をしてほしい。
- ・騒音対策を体験できる施設をつくり体験させていただきたい。
- ・騒音メーターの設置、告知をしてほしい。
- ・小中学校の施設整備費を交付してほしい。

②移転補償

- ・A滑走路北側の移転はいつ決まるのか。
- ・移転補償の内容と要件を早く提示してほしい。
- ・土地使用制限、開発計画、補償条件等の説明をしてほしい。
- ・お寺、神社はどうなるのか。

③集落分断

- ・騒音、落下物の危険性の調査もしっかりと行ってほしい。
- ・部落分断をさせないよう見直しをしてほしい。

④落下物対策

- ・落下物対策と補償の充実をお願いしたい。

⑤その他

- ・景観変化の説明を。住環境の破壊が恐ろしい。防音、環境対策の整備が、一番。
- ・温暖化防止指針にもつuit環境対策ではない。騒音対策だけでなく温室効果ガス削減対策も説明してほしい。
- ・排ガスの影響を詳しく知りたい。

(5) 地域振興策等について

①空港周辺の発展

- ・高齢者のための集合住宅、町整備をしてほしい。
- ・移転で過疎化が進んでいる。
- ・人口増加になるような対策をしてほしい。
- ・騒音被害に配慮が足りない。地域格差解消の対策をしてほしい。
- ・国際会議誘致、食、遊び、成田山PRをしてほしい。
- ・整備工場等も成田に展開すべき。

②空港周辺の道路整備、アクセス等

- ・圏央道のIC等利便性向上、PASAで地域物産の販売などを行ってほしい。

③その他

- ・C滑走路西部の環境面の配慮を十分に。河川対策強化をしてほしい。
- ・集中豪雨による河川氾濫が心配。汚染物質の流出対策もお願いしたい。

3. ホームページ等で寄せられたご意見

(1) 機能強化全般について

①機能強化案について

- ・C滑走路、24時間化共に早期実現を。また、第4滑走路実現も長期ビジョンに盛り込んでほしい。
- ・B滑走路の延伸や、空港の24時間化を1日でも早く実現してもらいたい。
- ・概ね賛成だが夜間飛行は不安が非常に大きい。
- ・第三滑走路、B滑走路の北伸、夜間飛行制限の緩和等、良く理解はできたが、自分が今住んでいる場所は、貨物便の影響でテレビを夜全く見ることができない。成田空港の発展は、我々地域住民の発展に繋がりは喜ばしい事であるが、騒音について、どれだけ苦しい思いをしているか、理解して欲しい。

- ・50万回離発着は絶対に無理である。30万回離発着なら賛成するが、このまま50万回になると、24時間営業の空港になってしまう。
- ・50年前の空港案(世界に冠たる成田空港)の完成に向け尽力をしてほしい。
- ・離発着50万回は2032年に到達するのは本当か。
- ・夜間飛行制限の緩和をしなくても、第三滑走路とB滑走路の北伸で十分ではないのか。
- ・B滑走路の延伸は早く実現して欲しいが、その後にC滑走路を整備するつもりなのか。
- ・パンフレットに羽田空港との対比が無いのは何故か。羽田空港の国際線離発着回数、航空旅客数を対比させて明記した方が良いのではないか。

- ・第3滑走路整備の時期はいつか。用地交渉はもうしているのか。
- ・今後進捗があった場合は、随時、地域住民に向けて情報発信して欲しい。

②空港までのアクセス

- ・鉄道強化を含む空港へのアクセス強化は考えないのか。
- ・リニアなどの都心とのアクセス改善も合わせて検討をしてほしい。

(2) 夜間飛行制限の緩和について

①夜間飛行制限緩和の案について

- ・なし崩し的に24時間化しない約束を自治体ではなく影響を受ける住民と結ぶべき。
- ・現行はやむなしと思うが、これ以上の緩和は納得できない。

- ・夜間飛行制限の緩和はいつ頃実施されるのか。
- ・先に滑走路の延伸や新設、防音対策を実施して、防音対策を実感してから運用時間を延長してはどうか。話し合いに時間を費やすよりも早いのでは。

②深夜・早朝対策

- ・内窓の設置はすべての窓に設置しないと効果がないのでは。
- ・対策区域に住んでいるが、仮に内窓を設置して貰う事が出来ると、どの位の遮音効果があるのか。

(3) 予測騒音コンター(騒音影響範囲)及び対策区域について

- ・想定しているコースと実際は違うのでは。
- ・山からの反響音が考慮されていないのでは。Lden66dBの範囲が狭すぎるのでは。正確な測定を希望する。

- ・騒音予測コンターがA滑走路北南地区、B滑走路南地区は騒音区域が滑走路直線上の同心円になっているが、B滑走路北側は東側になぜ同心円にならず曲がっているのか。

- ・コンターは谷間地区に在住する人の事を考慮して作成されているのか。
- ・騒音コンターの線引きで、自宅がどの騒音地区に入っているのか分からない。

(4) 環境対策について

①防音工事等

- ・騒音対策について、成田空港は具体的にどのような事をおこなっているのか。
- ・谷間地区に住んでいて、ペアガラスを付けても、騒音が凄い。
- ・防音助成金を貰いたい、防音工事をしてないので、無理なのか。

②移転補償

- ・法律を改正した上で移転対策できるよう政治力をフルに発揮するべき。
- ・コンターによれば、間違いない移転区域に入る。その場合、移転料はどの位になるのか。

③その他

- ・飛行高度と範囲の順守対策と、住民対策はNAAが主体性をもって行ってほしい。
- ・自然環境、動植物への影響に関する理念を明確にしてほしい。